

Paul Smith
WATCH

Paul Smith 時計 取扱説明書

はじめに

このたびは、ポール・スミスウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

時刻やカレンダーを合わせる前に

- りゅうずが、ねじロック式の場合は、ねじをゆるめてから操作を行ってください。操作が終わりましたら、りゅうずを通常的位置に戻して、ねじをしっかりと締めてください。
- 日付は、午前0時付近で切り替わります。24時間表示やカレンダー表示を見ながら、午前と午後を間違えないように時刻を合わせてください。

カレンダーを合わせるときのご注意

- 日付は31日制です。3月、5月、7月、10月、12月の初日にカレンダーを合わせる必要があります。
- 次の時間帯を針が表示しているときは、カレンダーの修正は避けてください。

日付付きの時計:午後9時～午前1時

日・曜日付きの時計:午後9時～午前4時30分




この時間帯に修正すると、翌日になってもカレンダーが切り替わらないことがあります。一度、この時間帯以外に針を動かしてから、カレンダーを合わせてください。

お買い上げいただいた時計と使用説明書のイラストは、外観、りゅうず位置、月齢、カレンダーの位置などが異なる場合があります。



安全上のご注意 必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、30～40ページを必ずお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをするおそれがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)



保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ふた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

特殊な構造のりゅうずの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずの場合があります。

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 <p>りゅうずが飛び出すまで、左に回す</p>	 <p>りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める</p>

目次

クオーツウォッチ

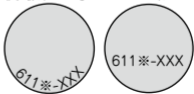
スタンダード: 2針/3針/日付/曜日	8
F33※/101※/103※/104※/111※/251※/452※/ 542※/550※/551※/593※/603※他	
デュアルタイム表示機能付き	10
611※	
月針・日針・曜日針付き	12
635※	
月齢表示付き	14
608※/618※	
クロノグラフ-1	16
F51※/F52※/051※/052※	
クロノグラフ-2 (日付なし)	20
J55※	

メカニカルウォッチ

自動巻式・手巻き式-1	22
663※/82※※/90※※	
自動巻式・手巻き式-2	24
82※※/90※※	
外装機能の使いかた	28
防水性能について.....	30
お取り扱いにあたって.....	32

機種番号の見かた
機種番号は、裏ぶたに
刻印されています。

例:機種番号611※の場合



クオーツウォッチ

スタンダード: 2針/3針/日付/曜日

F33*/101*/103*/104*/111*/251*/452*/542*/550*/
551*/593*/603*他

カレンダーがないモデル



時刻の合わせかた

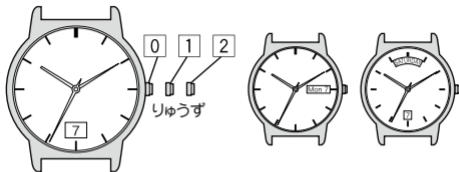
1. りゅうず位置を①にする

・ カレンダーがあるモデルでは、りゅうずの位置を②にします。

2. りゅうずを回して時刻を合わせる

3. りゅうず位置を①に戻す

カレンダーがあるモデル

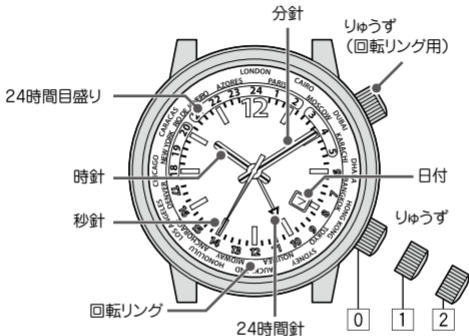


時刻の合わせかた

8ページをご参照下さい。(りゅうず位置②で合わせます。)

カレンダーの合わせかた

1. りゅうず位置を①にする
2. りゅうずを左に回して日付を合わせる
3. りゅうずを右に回して曜日を合わせる
 - ・ 曜日がないモデルでは、右に回すと空回りします。
 - ・ 曜日がワイド表示の場合は、完全に曜日が切り替わるまでりゅうずを回してください。
4. りゅうず位置を②に戻す



- この時計は「デュアルタイム機能」を備えています。時針(12時間制)と24時間針で、別の時刻を表示できます。
- 外装機能(回転リング)の使いかたは、28ページをご覧ください。

時刻(24時間針)の合わせかた

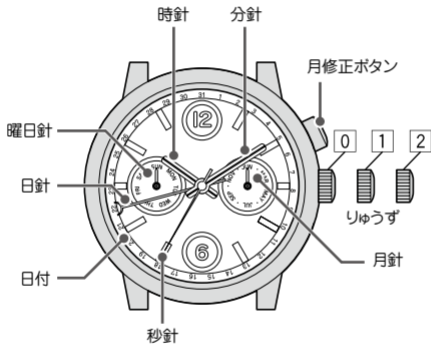
24時間針・分針で表示したい時刻に合わせます。

1. りゅうず位置を[2]にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
3. りゅうず位置を[0]に戻す

時針と日付の合わせかた

時針(12時間制)で表示したい時刻に合わせます。

- ・分・秒は、「時刻(24時間針)の合わせかた」で合わせた時刻と共通です。
1. りゅうず位置を[1]にする
 2. りゅうずを右に回して時針を合わせる
 3. りゅうずを左に回して日付を合わせる
 4. りゅうず位置を[0]に戻す
- ・りゅうずを右に回すと、時針に連動して日付が動きます。時刻(12時間制)を合わせてから、日付を合わせてください。



時刻と曜日の合わせかた

1. りゅうず位置を②にする
2. りゅうずを右に回して曜日と時刻を合わせる
3. りゅうず位置を①に戻す

日付の合わせかた

1. りゅうず位置を①にする
2. りゅうずを左に回して日付を合わせる
3. りゅうず位置を①に戻す

月の合わせかた

1. 月修正ボタンを押す
 - ・ ボタンを押すごとに、月針が1ヶ月分ずつ時計回りに動きます。
 - ・ 日針が30日から31日の間を指しているときは、月の修正は避けてください。

月齢表示付き

608※/618※



デザインにより、外観、りゆうずの位置、月齢表示の位置がイラストと異なる場合があります。

月齢の見かた(目安)



- 月齢(月の満ち欠け)を目安で表示しています。実際の月の見えかたを表示しているものではありません。

時刻の合わせかた

1. りゅうず位置を[2]にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
3. りゅうず位置を[0]に戻す

月齢の合わせかた

新聞などで当日の月齢を確認して合わせます。

- 月齢0 朔(新月=Newmoon)または月齢15 望(満月=Fullmoon)のときに合わせると、より正確に合わせることができます。

1. りゅうず位置を[1]にする
2. りゅうずを右に回して月齢を合わせる
3. りゅうず位置を[0]に戻す

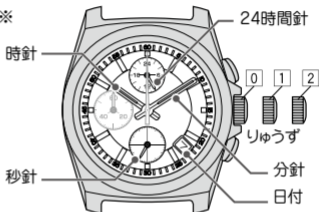
クロノグラフ-1

F51※/F52※/051※/052※

日付のないモデルもあります。

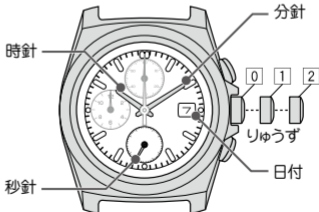
F51※/F52※/052※

モデルによっては、
24時間針が3時の
位置にあります。また、
秒針のないモデル
があります。



051※

クロノグラフ時針の
ないモデルもあり
ます。



時刻の合わせかた

1. りゅうず位置を[2]にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
3. りゅうず位置を[0]に戻す

日付の合わせかた

1. りゅうず位置を[1]にする
2. りゅうずを回して日付を合わせる
3. りゅうず位置を[0]に戻す

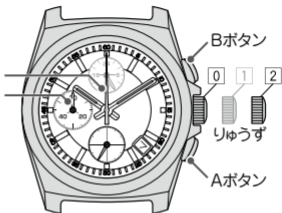
- クロノグラフの使いかたは、次のページをご覧ください。

クロノグラフ-1

F51※/F52※/051※/052※

F51※/F52※/052※:
60分計です。

クロノグラフ秒針
クロノグラフ分針



051※:12時間計と60分
計があります。

クロノグラフ秒針
クロノグラフ時計



クロノグラフ時計の
ないモデルは60分
計です。

クロノグラフの使いかた

- Bボタンを押すごとに、計測を開始・停止・再開します。
- 計測停止時にAボタンを押すと、クロノグラフをリセットします。
 - * クロノグラフの使用回数が多い、または使用時間が長いと、電池の寿命が短くなります。ご注意ください。

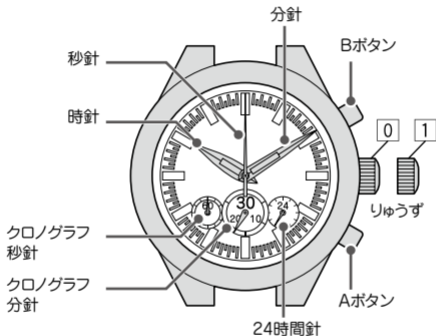
<クロノグラフ針が0位置に戻らないときには>

電池交換の後や強い衝撃を受けた後などに、クロノグラフ針が0位置(真上)に戻らなくなることがあります。この場合は、クロノグラフ針の位置を0位置に合わせてください。

1. りゅうず位置を $\boxed{2}$ にする
2. Bボタンをくり返し押して、クロノグラフ秒針を0位置に合わせる
 - ボタンを押し続けると針が動き続けます。
3. 時刻を合わせ直して、りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す
4. Aボタンを押す
 - 各クロノグラフ針が0位置にあることを確認します。

クロノグラフ-2 (日付なし)

J55※



このクロノグラフは、30分計です。(計測開始から30分後、計測は自動で停止します。)

時刻の合わせかた

1. りゅうず位置を $\boxed{1}$ にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
3. りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す

クロノグラフの使いかた

- Bボタンを押すごとに、計測を開始・停止・再開します。
- 計測停止時にAボタンを押すと、クロノグラフをリセットします。
 - * クロノグラフの使用回数が多い、または使用時間が長いと、電池の寿命が短くなります。ご注意ください。

<クロノグラフ針が0位置に戻らないときには>

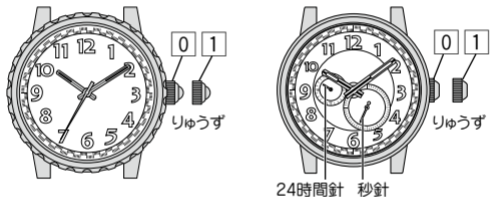
1. りゅうず位置を $\boxed{1}$ にする
2. Bボタンを押して、クロノグラフ針(分針、秒針)を0位置に合わせる
 - ボタンを押し続けると針が動き続けます。
3. りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す

機械式時計

自動巻き・手巻き式-1

663**/82***/90**

日付/曜日なしモデル



※針の位置はモデルによって異なります。

自動巻き式では、歩いたときの腕の振りなどで、ぜんまいが巻かれます。手動で巻くときは、リゆうず位置を0にして、リゆうずを右に回してください。

時刻の合せかた

1. りゅうず位置を $\boxed{1}$ にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
3. りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す

日付・曜日付モデル



※カレンダーの位置はモデルによって異なります。

時刻の合せかた

1. りゅうず位置を $\boxed{2}$ にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
3. りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す

カレンダーの合せかた

1. りゅうず位置を $\boxed{1}$ にする
2. りゅうずを回して日を合わせる
3. りゅうずを回して曜日を合わせる
 - ・ 曜日のないモデルでは、りゅうずを回すと空回りします。
4. りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す

カレンダー修正時の注意

午後8時から翌日の午前5時は、カレンダーが切り替わる時間帯です。この時間帯での修正は避けてください。
翌日にカレンダーが切り替わらない場合があります。

機械式時計について

機械式時計の精度について

本書に記載されている精度表示は、常温時における静的精度です。機械式時計の精度は、次の使用条件などにより精度範囲を超える場合があります。

- ぜんまいの巻き上げ量
- 姿勢
- 使用環境(温度/磁気/衝撃など)

ぜんまいの巻き上げ量

機械式時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で、最も安定した精度を維持することができます。

姿勢

機械式時計の精度は、重力の影響を受けて変化します。身につけているとき、時計はさまざまな姿勢(向き)になるため、重力の向きが刻々と変わり、精度に差が生じます。

使用環境(温度/磁気/衝撃など)

- 機械式時計は、精度を制御する部分に金属部品が使われているため、温度変化による金属の膨張、収縮の影響を受けて精度に差が生じます。
- 機械式時計は、金属の部品を使用しているため、磁力の影響を受け、精度に差が生じます。時計の精度を保つためには、強い磁気が発生する物に近づけないようにしてください。
- 強い衝撃を受けた場合も精度に差が生じます。

機械式時計のお手入れについて

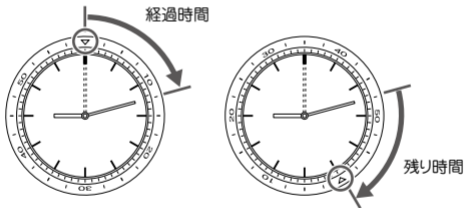
機械式時計は、油切れや摩耗などにより精度が不安定になります。定期的(2~3年ごと)に分解掃除(有償)をご依頼ください。また、長期のご使用による部品の摩耗などが原因の性能の劣化は、修理による初期性能への復元が困難な場合もあります。

外装機能の使いかた

モデルによっては、以下のような機能を持つ回転リングが付いています。

<時間計測機能>

回転リングの▽を特定の時刻に合わせて、そこからの経過時間を計ることができます。また、目標の時間に合わせると、残り時間がわかります。



＜時差換算機能＞

回転リング上に時差順に並んだ各都市の、おおよその時刻(24時間制)を読み取ることができます。

例えば、東京が22時のときのパリの時刻を知りたいときは、「TOKYO」を24時間目盛りの22時に合わせると、パリ(「PARIS」)の時刻が14時だとわかります。

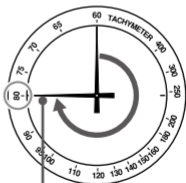


24時間目盛り

＜時速計算機能(タキメーター)＞

自動車などが1km走行するのにかった時間をクロノグラフで計測することで、その区間の平均時速が表示されます。

右の図は、1kmを45秒で走行した場合の例です。タキメーターの表示から、平均時速は80kmだとわかります。



秒針

防水性能について








警告 防水性能について

- ・ 時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1 barは約1気圧に相当します)
- ・ WATER RESIST (ANT)×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- ・ 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・ 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できませんが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板又は裏蓋	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、 20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンドайビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例					
					
水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキンドайビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。	
×	×	×	×	×	
○	×	×	×	×	
○	○	×	×	×	
○	○	○	×	×	

お取り扱いにあたって

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります(脱色、接着はがれ)。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをするおそれがあります。

<温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。

<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー一部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・ 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・ クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・ 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾールトイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・ 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。
金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 皮革バンドやウレタンバンドは乾いた布などで拭いて汚れを取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

注意 電池交換について

- 使用済みの電池を火中に投げないでください。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 分解・改造・加熱しないでください。事故につながる恐れがあります。
- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換をしてください。
- 電池交換の際は、必ず指定電池をご使用ください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

PS011
PS019
PS022 ④